

# WE WILL

第18期 中間期のご報告  
2022年4月1日 - 2022年9月30日

vol. 11 証券コード4188



三菱ケミカルグループ株式会社

株主の皆様へ



# 株主の皆様へ

## 2022年度上半期の概要について

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当上半期(2022年4月1日~9月30日)における当社グループの事業環境は、ウクライナ情勢の長期化や中国でのロックダウンの影響、インフレの拡大等、厳しい状況が続きました。今後も、原材料やエネルギー価格の上昇、サプライチェーンの混乱、景気減速のリスク等、不透明な状況が続くと予想されます。

当上半期の連結業績の詳細は以下のとおりです。また、決算発表に合わせ、通期の業績予想(利益面)を下方修正しております。これは主として、ディスプレイ関連製品の需要減速及びMMAの価格下落に加え、コロナワクチンの商業化の遅れによるものです。

配当に関しましては、中期的な配当性向30%を目標とし安定配当を行うとの方針のもと、当初予想のとおり1株につき15円の間配当を行うこととしました。

## 市場の変化に即応し、戦略の実行を加速させる

当社は、新経営方針「Forging the future 未来を拓く」のもと、「世界に冠たるスペシャリティマテリアル企業」への転換を目標としています。私たちは、これこそが、持続可能性と価値創造を同時に達成するための最良の方法であると確信しています。

経済環境の変化に合わせ、当社は新経営方針の実行をあらゆる面で加速しています。当初計画より早く、年間1,000億円のコスト削減目標を達成すべく施策の展開を始めています。また、運転資金の削減や全社的な業務効率の改善についても検討しています。

より強固な事業基盤を構築し、卓越したオペレーションを実現するとともに、将来のビジネスチャンスを十分に活かせるよう準備を整えます。

## 機能商品事業へ集中し、成長をめざす

私たちがめざすものは成長と収益向上による持続的な価値創造であり、これが最優先課題です。

機能商品事業への集中は、スペシャリティマテリアル企業への転換に不可欠であり、当社は、新経営方針の

もと、最も有望な7つの市場へ積極的に資源を再配分することとしました。

私たちは、豊富な製品ポートフォリオを活かし世界中のお客様に貢献することにより、これらの市場での成長を加速させます。また、絶え間ないイノベーションを実現すべく、研究開発投資も拡大しています。

私たちの機能商品事業は、これから大きく成長する可能性があります。4月に「One Company, One Team」体制もスタートさせました。すばらしい従業員が熱意をもって明るい未来へと歩みを進めます。

本誌では、私たちの機能商品事業の製品を身近に感じていただけるよう、ドライブ、スポーツ、食、デジタルという4つの場面に分けてご紹介します。

## KAITEKIの実現と企業価値の向上

当社は、いち早く卓越したオペレーションを実現するとともに、機能商品事業へ集中し、成長を加速させていただきます。そして、人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと、すなわちKAITEKIの実現をめざし、歩みを進めてまいります。



執行役社長  
ジョンマーク・ギルソン

私たちは、全力でこれらの課題に取り組み、企業価値を継続的に向上させ、皆様への還元のさらなる充実に努めてまいりますので、倍旧のご支援をよろしく願います。

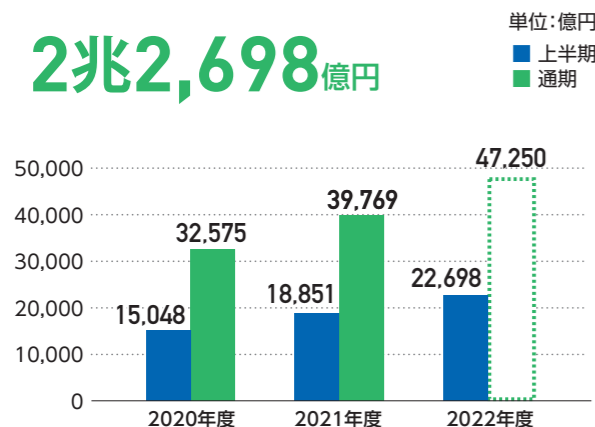
# T O P M E S S A G E

## [連結業績の概要]

経済社会活動の正常化が進む中、世界経済全体では緩やかな持ち直しの動きが継続しましたが、地政学リスクに伴う原燃料価格の上昇やサプライチェーンの混乱に加え、金融資本市場の変動の影響等、先行きに対し不透明感のある状況が続いております。

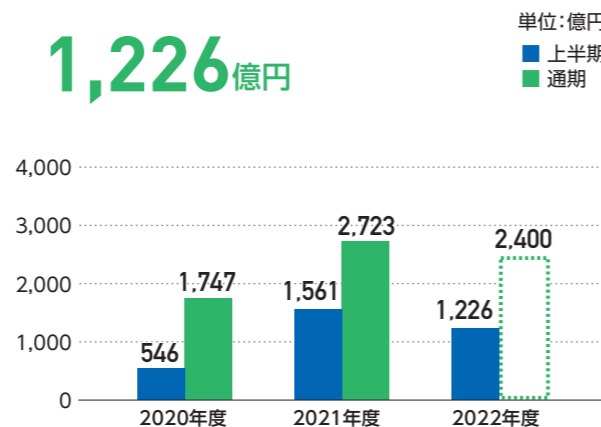
売上収益

2兆2,698億円



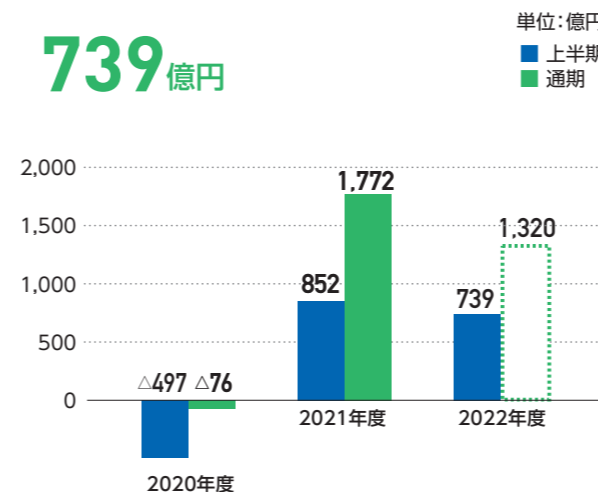
コア営業利益

1,226億円



親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益(△損失)

739億円



その他

1,088億円

ヘルスケアセグメント  
2,120億円

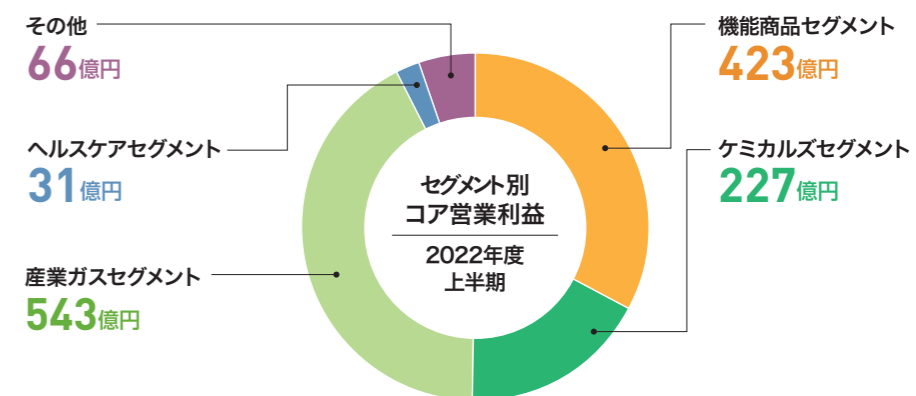
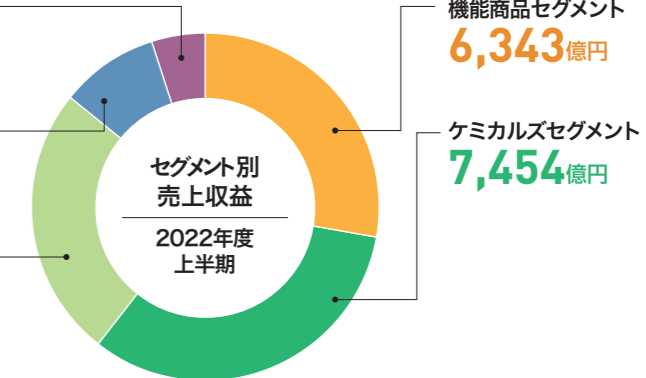
産業ガスセグメント  
5,693億円

その他

66億円

ヘルスケアセグメント  
31億円

産業ガスセグメント  
543億円



※コア営業利益とは、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いた経常的な利益のことです。

人の暮らしのあちらこちらに

# 三菱ケミカルグループ

日常が戻りつつある中、基本的な感染対策をベースとした“withコロナ”という新たな生活様式も定着してきました。そんな新たな日常をアクティブに楽しんではいかがでしょうか。当社グループは、新たな日常を楽しむ皆様に機能性の高い製品の提供を通して、皆様と未来を拓いていきます。

## ドライブに行こう!

少数人数での移動に適した「クルマ」の価値が改めて見直される中、燃費性能に優れ安全性が高く、かつ環境に配慮したクルマへのニーズはますます高まっています。当社グループは、軽量で高強度な素材やEV電池向け材料等の提供により、環境にやさしいクルマづくりに貢献していきます。

負極材・電解液は、EV（電気自動車）の要であるリチウムイオン電池の材料です。

### 電池材料の開発

### 車体の軽量化

炭素繊維SMC\*は鉄に対し重量が1/3程度のため、車体の軽量化を実現し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。  
\*SMC(Sheet Molding Compound)

### 植物原料由来のバイオエンブレ

「DURABIO™」は、再生可能な植物原料由来のエンジニアリングプラスチックで、軽量かつ耐衝撃性に優れ自動車部材への採用が進んでいます。

## スポーツを楽しもう!

多様な働き方が広がり、時間を有効活用してスポーツを始める人も増えました。またスタジアムに足を運び、チームや選手を応援できる日も戻ってきました。当社グループは、機能性の高い製品の提供により、スポーツを楽しむ皆様に貢献していきます。

### 感性をカタチに

幅広い層に人気の当社グループのゴルフシャフト。「ELDIO™」は、感性工学による分析をもとに企画・開発した、高性能・高品質な「女性が使いたくなる」ゴルフシャフトブランドです。

### リサイクルも推進

炭素繊維は軽くて丈夫で柔軟性があり、ウインドサーフィンのマストやセイル部分に使用されています。損傷した部材のリサイクルに向けた活動も開始しました。

### パフォーマンスを支える

排水性や安全性に優れたスポーツ用人工芝は、サッカーやラグビー、野球など様々なスポーツに適した性能をもち、その高い品質で多くの競技場に採用されています。

## 新たな日常を楽しみましょう!

## 自然と触れ合おう!

屋外でのレジャーに注目が集まり、ピクニックやキャンプを楽しむ人も増えました。四季折々の美しい景色を眺めに足を延ばしてみたいのではないでしょうか。当社グループは、自然と触れ合う多くの皆様に、環境に配慮した製品を提供していきます。

### 真空耐熱技術

真空耐熱技術により保温・保冷性能に優れたサーモスは、アウトドアシーンでもその季節に最適な「おいしい温度」を楽しむことができます。

### 食品の劣化を防ぐ

高いガスバリア性を有する包装材「ノール™」は、品質劣化につながる酸素を遮断するため食品が長寿命化され、フードロス削減にも貢献します。

### 生分解性プラスチック

ポリブチレンサクシネート(PBS)は、自然界の土中の微生物の力で水と二酸化炭素に自然に分解される生分解性プラスチックです。

## いろいろな「旅」を体験しよう!

旅先の映像を眺めて気兼ねなく旅行ができる日を待ちわびつつ、お家の中でも旅気分になれるバーチャルツアーやオンライン観光を楽しむ人も増えました。当社グループは、情報処理技術の高度化に対応する製品・サービスの提供により、いろいろな「旅」をサポートしていきます。

### 次世代ディスプレイ



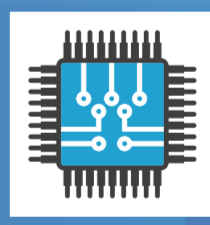
OLED用ブラックバンプ材は、次世代ディスプレイのさらなる高画質化を実現します。

### 未来の社会を支える



「GaN」は「ガリウム」と「窒素」の化合物で、結晶構造を持つ半導体材料です。次世代高速通信「5G」やポスト5G通信への活用が期待されています。

### デジタル社会基盤への貢献



半導体関連製品やサービスを世界中の顧客に対してワンストップで提供し、半導体産業に新たな価値を創出することで、デジタル社会基盤への貢献をめざしていきます。

## Science & Innovation Center 新研究棟を開設

持続的に社会に貢献しイノベーションを生み出し続ける研究開発拠点

当社グループは、グループの研究開発拠点である横浜市青葉区のScience & Innovation Center (SIC)に新研究棟を開設しました。当社グループの研究開発は「常にイノベーションを生み続け、持続的に社会に貢献するワールドクラスの研究開発部門となる」ことをビジョンとして掲げています。このビジョンに基づき、SICは、サイエンスに立脚した基礎研究を中心に担い、

中長期を視野に、社内外とのコミュニケーションを図りながら、イノベーションの創出に取り組んでいます。当社グループ最大規模となる新研究棟では、最新鋭のデジタル設備の導入により、研究開発の高速化、効率化を図るとともに、グローバルなハブとして、顧客やパートナーとのコラボレーションを生み出し、ソリューションを提供していきます。



【新研究棟外観】



【新研究棟内部】

©GRAFILM

©GRAFILM

## 株主メモ

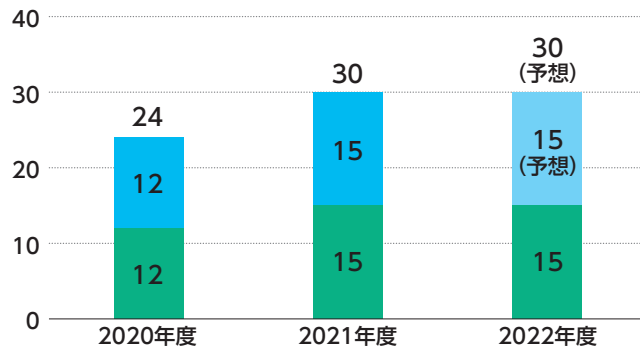
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日  
(2) 期末配当金 3月31日  
(3) 中間配当金 9月30日  
※その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
- 公告の方法 電子公告  
※ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
◎公告掲載URL  
(<https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/index.html>)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先及びお問い合わせ先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (通話料無料)

## 株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 ..... 6,000,000,000株  
発行済株式総数 ..... 1,506,288,107株  
株主数 ..... 289,310名

## 配当の状況

1株当たり配当金 (円) ■期末 ■中間



# 単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様へ

## 単元未満株式(1株~99株)とは

当社の売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいいます。単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

### 単元株式

株主総会で議決権を行使できます。  
証券市場で売買できます。

### 単元未満株式

株主総会で議決権を行使できません。  
証券市場で売買できません。

単元未満株式をお持ちの株主様は、市場価格で、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式を当社に対しご売却(買取制度)いただくことができます。

### (例) 40株をご所有の場合

買増制度	買取制度
60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。	当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。

## 買増制度・買取制度のご利用方法

証券会社の口座でお持ちの株式については、お取引先の証券会社で手続きください。また、特別口座でお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

### 特別口座の口座管理機関及び連絡先

口座管理  
機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**0120-232-711** (通話料無料)

※特別口座に株式をお持ちの株主様が、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座への振り替えが必要となりますので、ご注意ください。



当社ホームページをご活用ください

<https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>

当社ホームページでは、プレスリリースや中期経営計画、決算情報等を掲載しております。

三菱ケミカルグループ

検索



携帯電話やスマートフォンなどから、二次元コードを読み取ってアクセスすることもできます。



三菱ケミカルグループ株式会社

〒100-8251 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号(パレスビル) 電話:03-6748-7200



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。